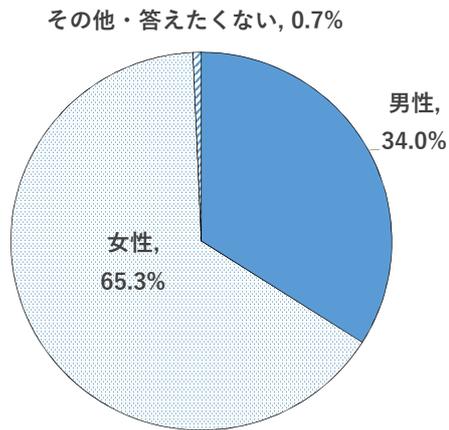


新型コロナ対策のための県民意識調査 アンケート結果

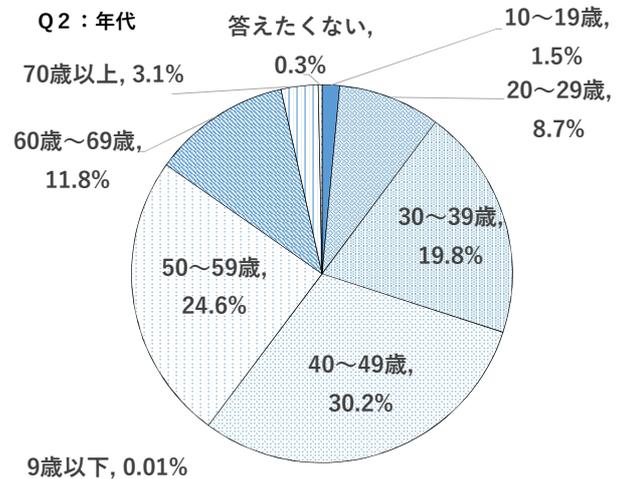
実施期間	: 令和3年1月29日8:00～令和3年1月31日23:59
アンケート方法	: LINE「長野県新型コロナ対策パーソナルサポート」で配信
配信数	: 138,429人
回答者数	: 31,102人
回答率	: 22.47%

Q1：性別



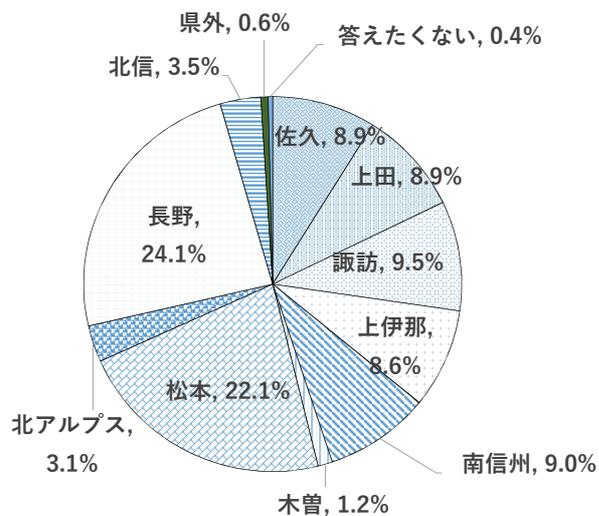
	人数	割合
男性	10,574	34.0%
女性	20,310	65.3%
その他・答えたくない	218	0.7%
合計	31,102	100%

Q2：年代



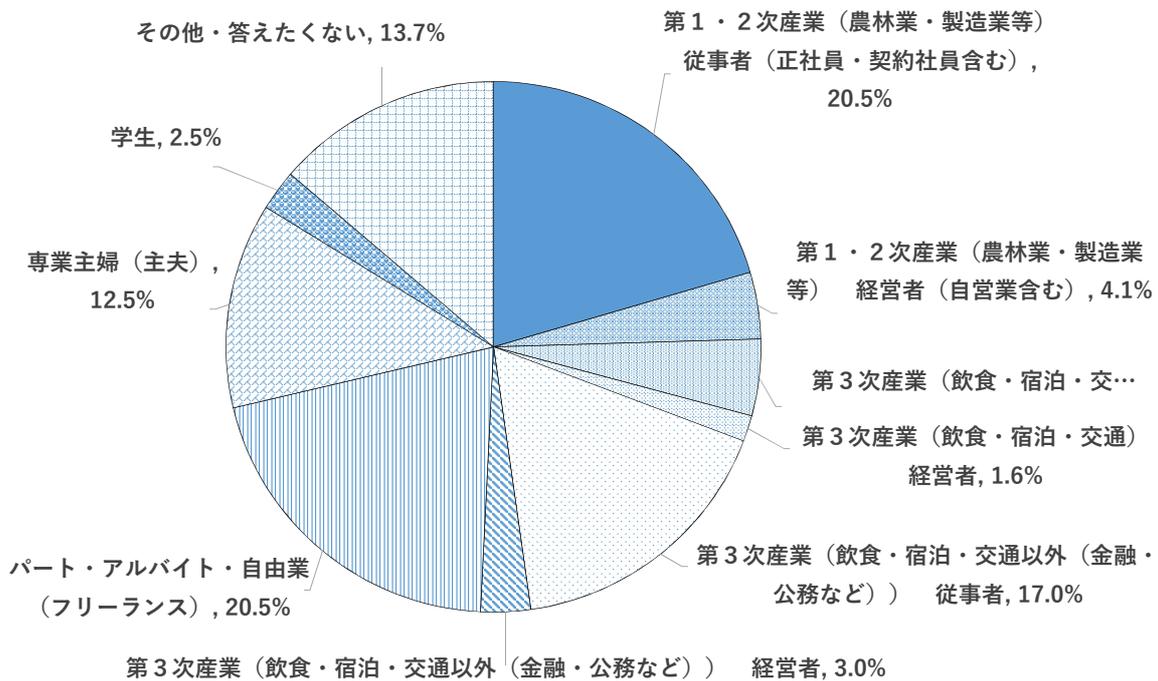
	人数	割合
9歳以下	3	0.01%
10～19歳	460	1.5%
20～29歳	2,698	8.7%
30～39歳	6,172	19.8%
40～49歳	9,383	30.2%
50～59歳	7,651	24.6%
60～69歳	3,661	11.8%
70歳以上	977	3.1%
答えたくない	97	0.3%
合計	31,102	100%

Q3：地域



	人数	割合
佐久	2,765	8.9%
上田	2,780	8.9%
諏訪	2,943	9.5%
上伊那	2,675	8.6%
南信州	2,805	9.0%
木曾	381	1.2%
松本	6,884	22.1%
北アルプス	976	3.1%
長野	7,505	24.1%
北信	1,078	3.5%
県外	190	0.6%
答えたくない	120	0.4%
合計	31,102	100%

Q4：あなたの職業を教えてください。



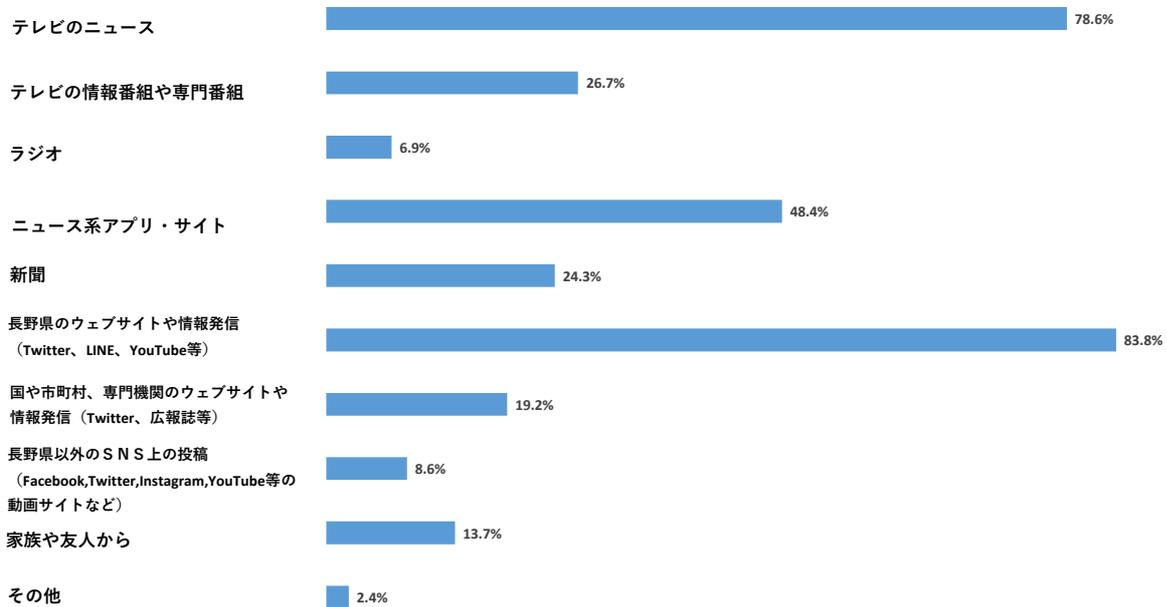
	人数	割合
第1・2次産業（農林業・製造業等） 従事者（正社員・契約社員含む）	6,364	20.5%
第1・2次産業（農林業・製造業等） 経営者（自営業含む）	1,264	4.1%
第3次産業（飲食・宿泊・交通） 従事者	1,454	4.7%
第3次産業（飲食・宿泊・交通） 経営者	490	1.6%
第3次産業（飲食・宿泊・交通以外（金融・公務など）） 従事者	5,286	17.0%
第3次産業（飲食・宿泊・交通以外（金融・公務など）） 経営者	936	3.0%
パート・アルバイト・自由業（フリーランス）	6,382	20.5%
専業主婦（主夫）	3,892	12.5%
学生	768	2.5%
その他・答えたくない	4,266	13.7%
合計	31,102	100%

Q5：感染症に関して、情報を入手している主な情報源はなんですか。（3つまで）

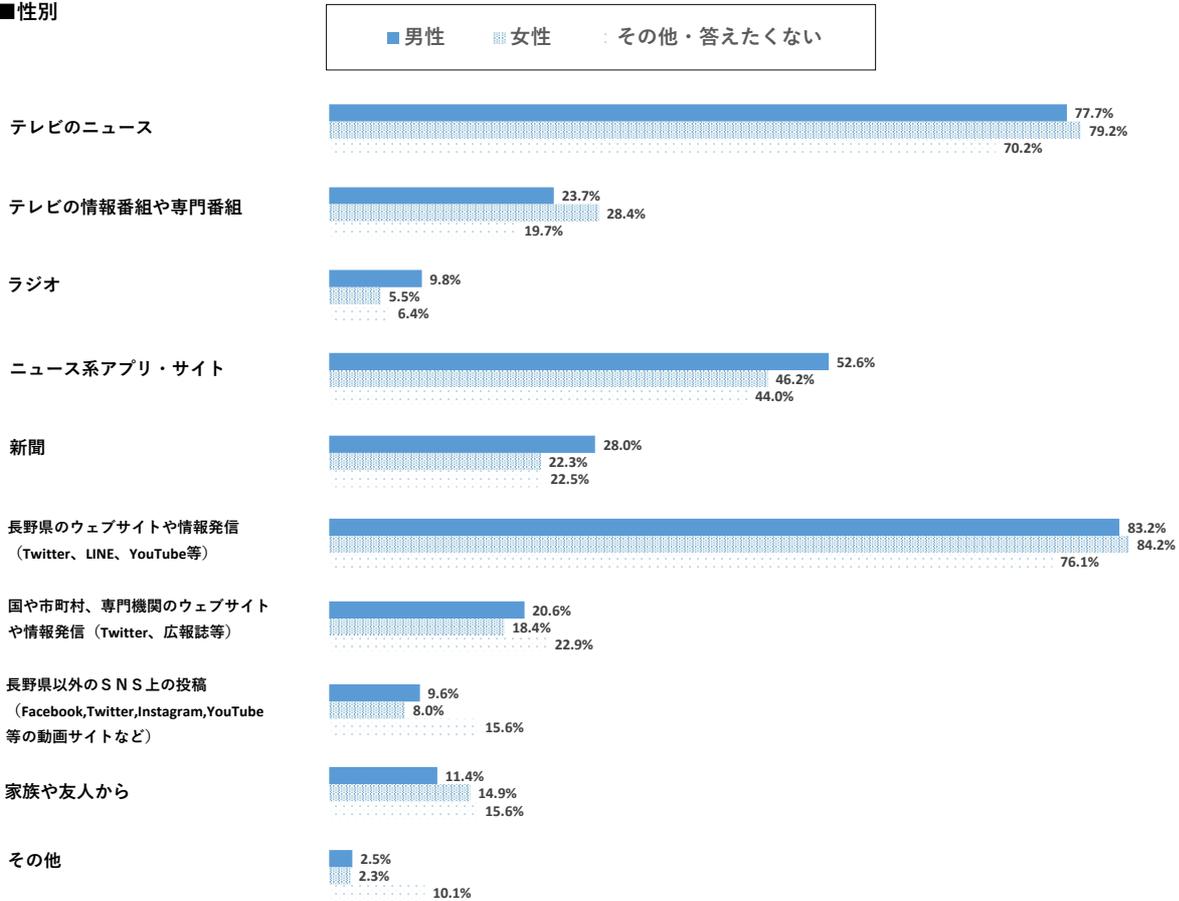
○男女ともに「長野県のウェブサイトや情報発信」の割合が最も高く、次に「テレビのニュース」となっている。

○年代が上がるにつれ「テレビの情報番組や専門番組」や「新聞」を、年代が下がるにつれ「家族、友人」や「長野県以外のSNS上の投稿」を選択する人の割合が高い。

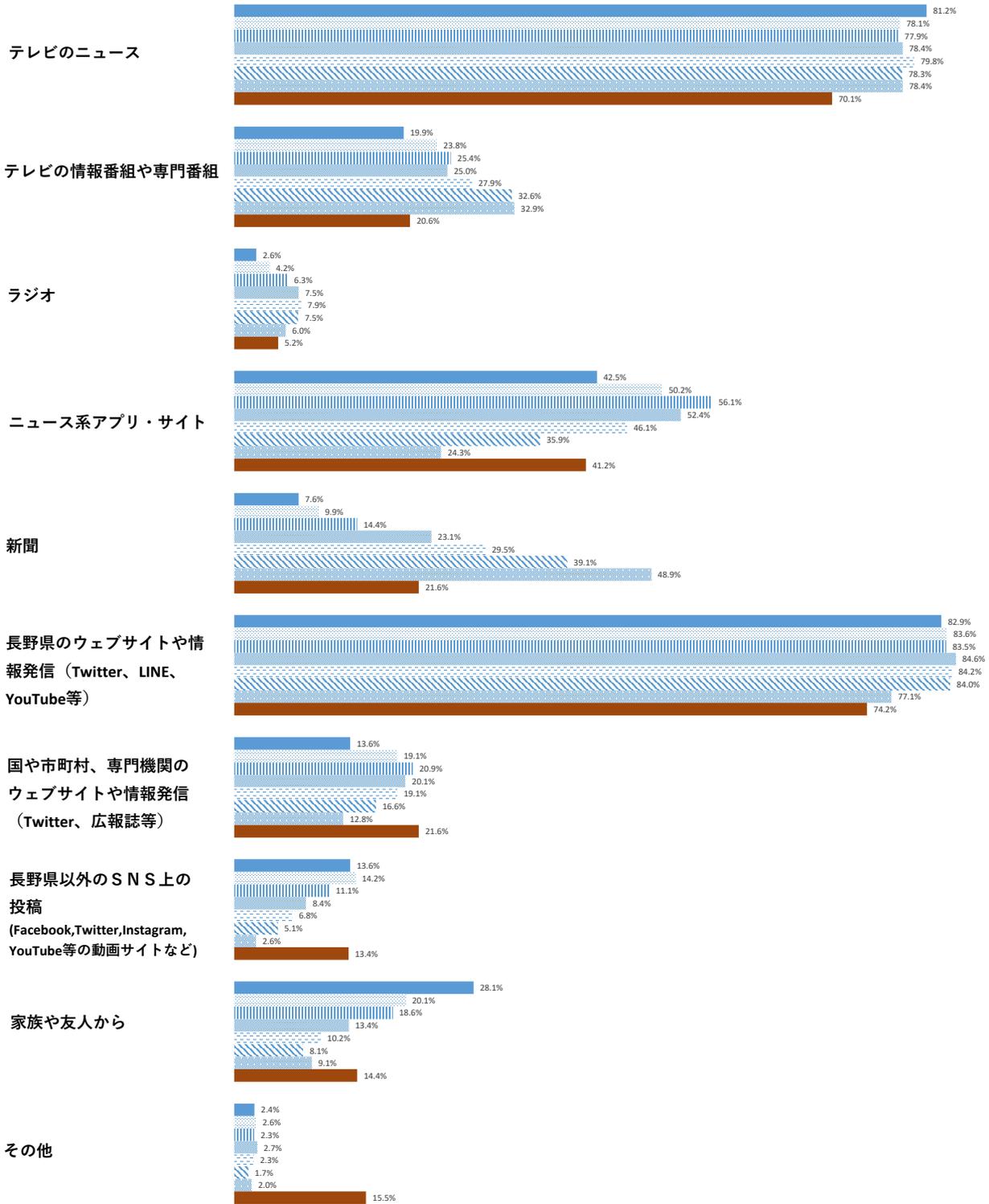
■全体



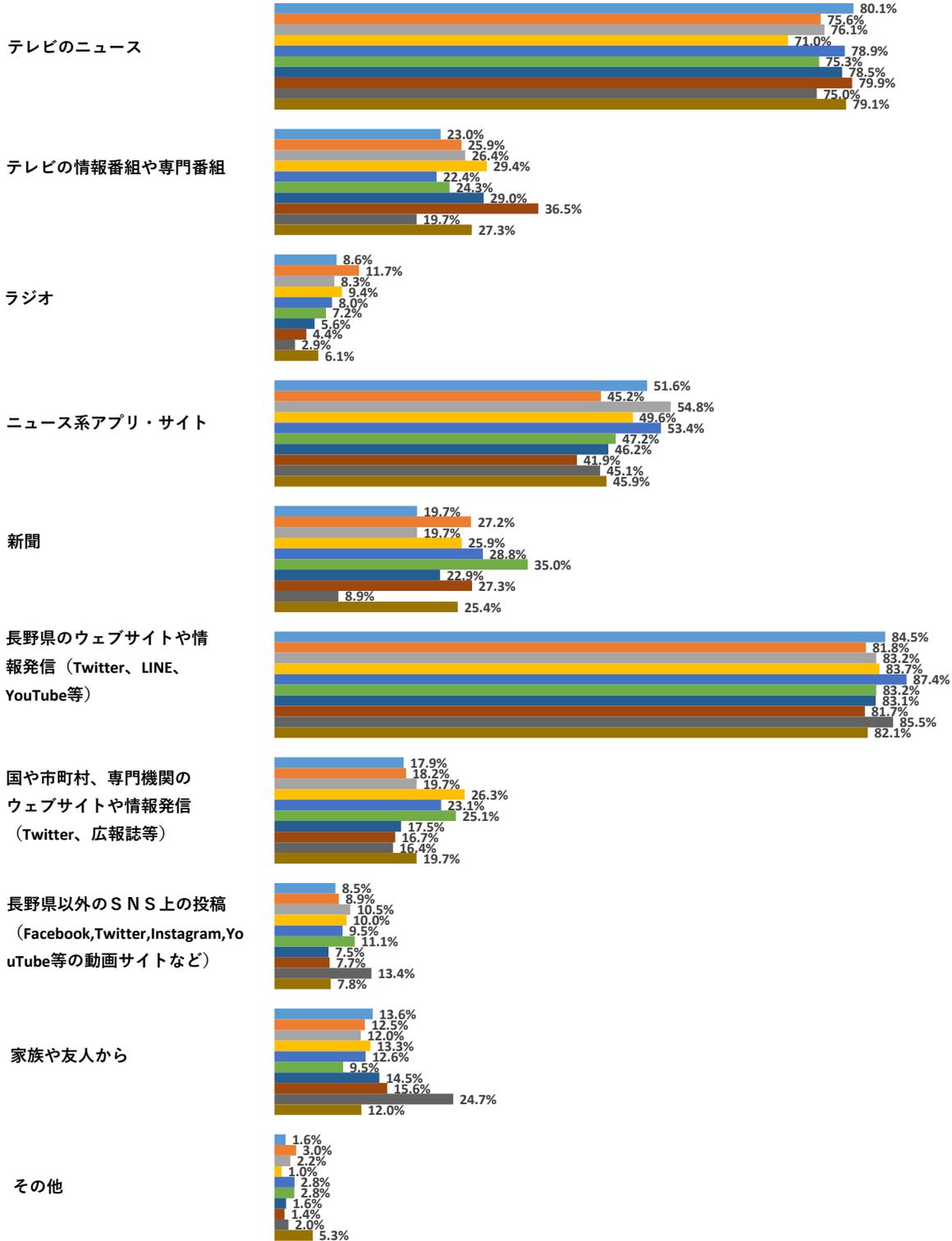
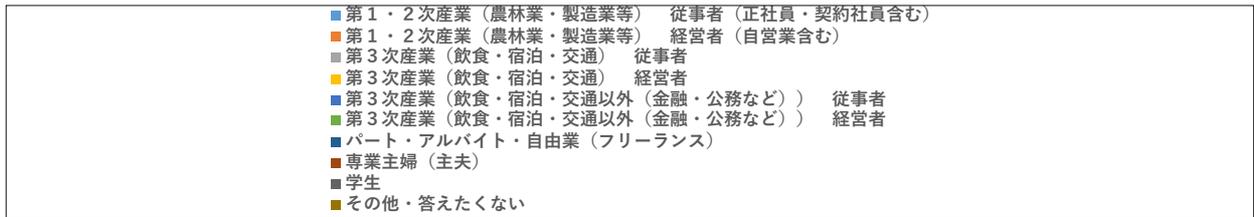
■性別



■年代別



■職業別



Q6：感染防止のためにもっと必要だと思う情報は何ですか（3つまで）

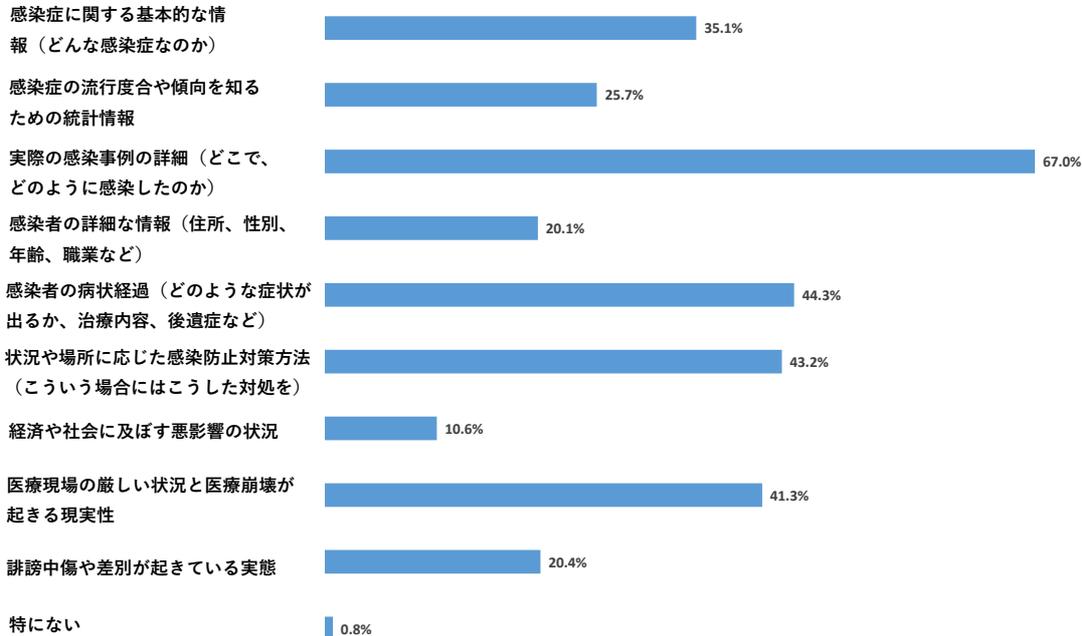
○男女ともに「実際の感染事例の詳細（どこで、どのように感染したのか）」の割合が最も高い。

○年代が上がるにつれ「実際の感染事例の詳細」を選択する割合が上がり、年代が下がるにつれ「誹謗中傷や差別が起きている実態」の割合が上がっている。

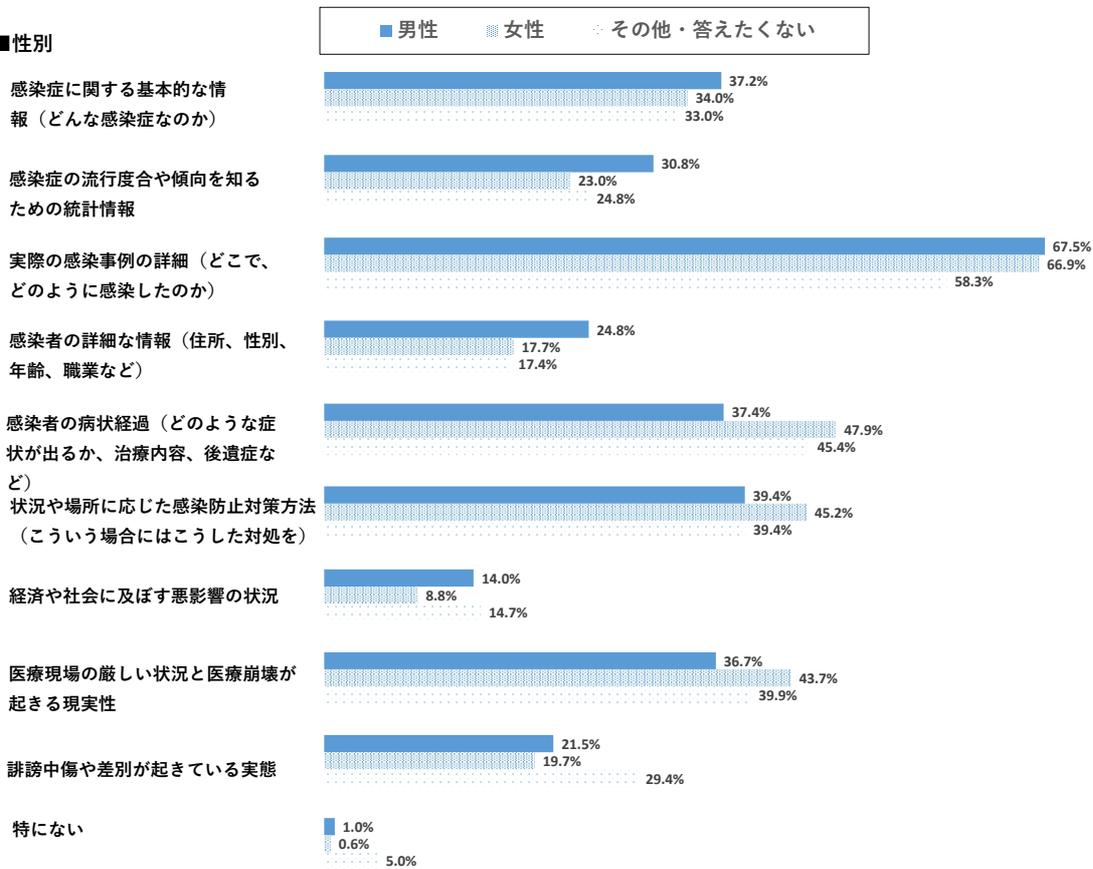
○職業別にみると他の職業と比較し、「第3次産業の経営者」は「経済や社会に及ぼす悪影響の状況」で、「専業主婦（主夫）」は「実際の

感染事例の詳細」を「学生」は「誹謗中傷や差別が起きている実態」を選択する割合が高くなっている。

■全体



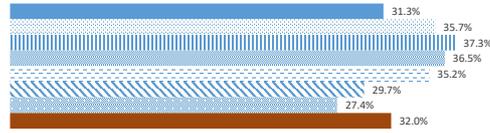
■性別



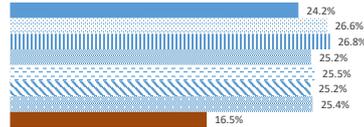
■年代別

■ ~19歳 ■ 20~29歳 ■ 30~39歳 ■ 40~49歳 ■ 50~59歳 ■ 60歳~69歳 ■ 70歳以上 ■ 答えたくない

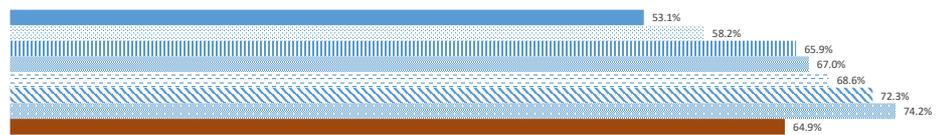
感染症に関する基本的な情報（どんな感染症なのか）



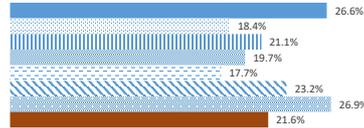
感染症の流行度合や傾向を知るための統計情報



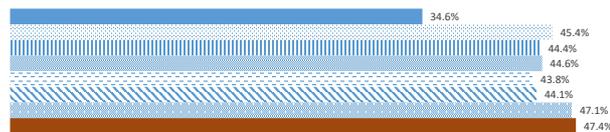
実際の感染事例の詳細（どこで、どのように感染したのか）



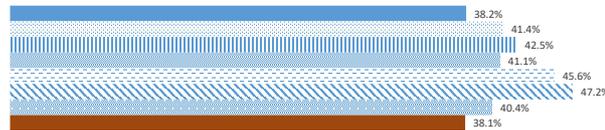
感染者の詳細な情報（住所、性別、年齢、職業など）



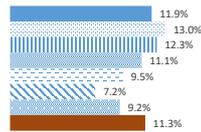
感染者の病状経過（どのような症状が出るか、治療内容、後遺症など）



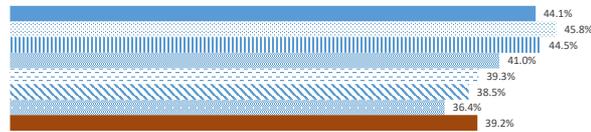
状況や場所に応じた感染防止対策方法（こういう場合にはこうした対処を）



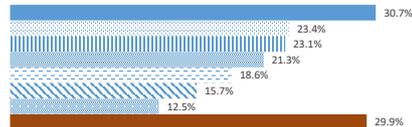
経済や社会に及ぼす悪影響の状況



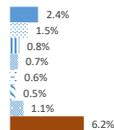
医療現場の厳しい状況と医療崩壊が起きる現実性



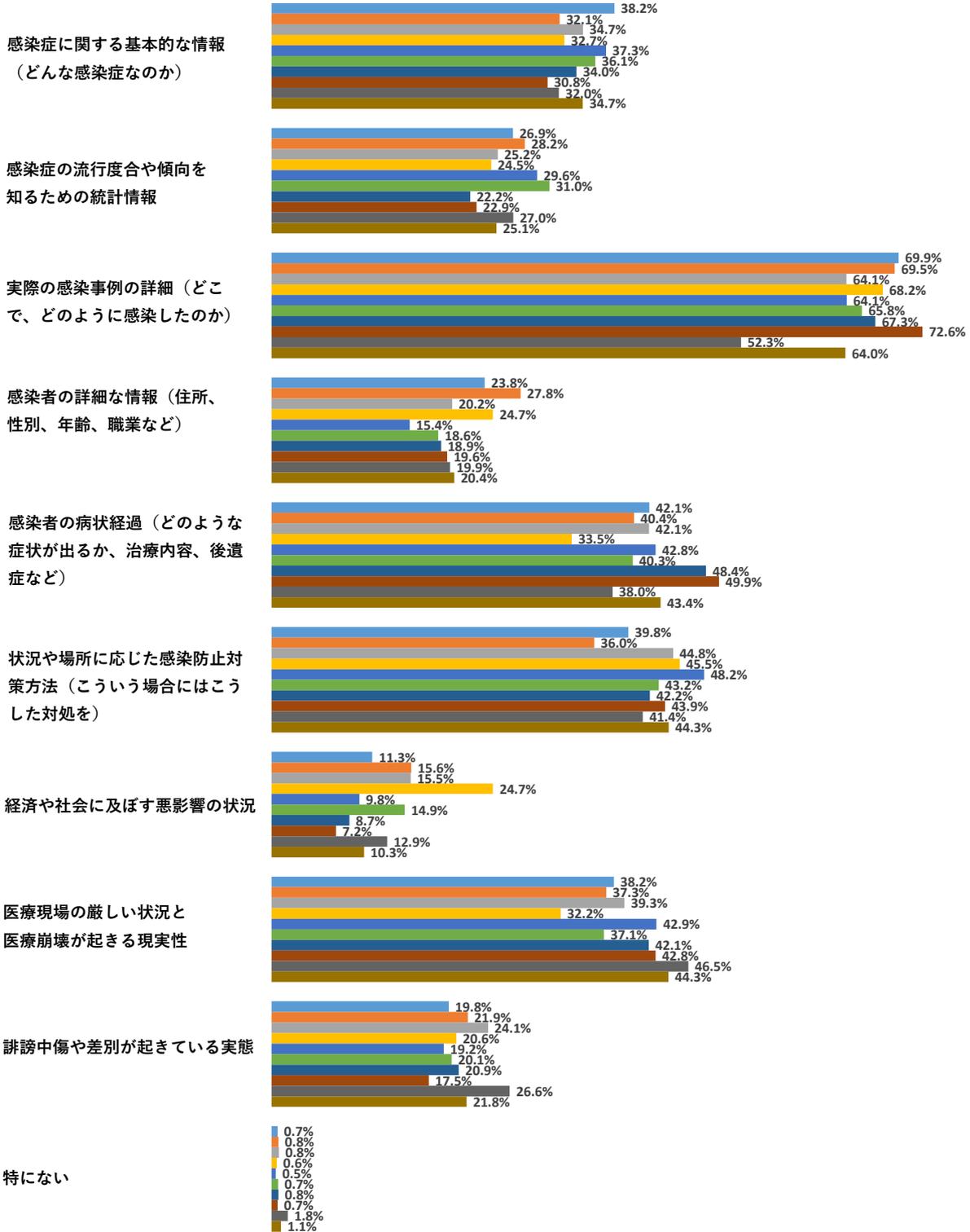
誹謗中傷や差別が起きている実態



特にない



■職業別



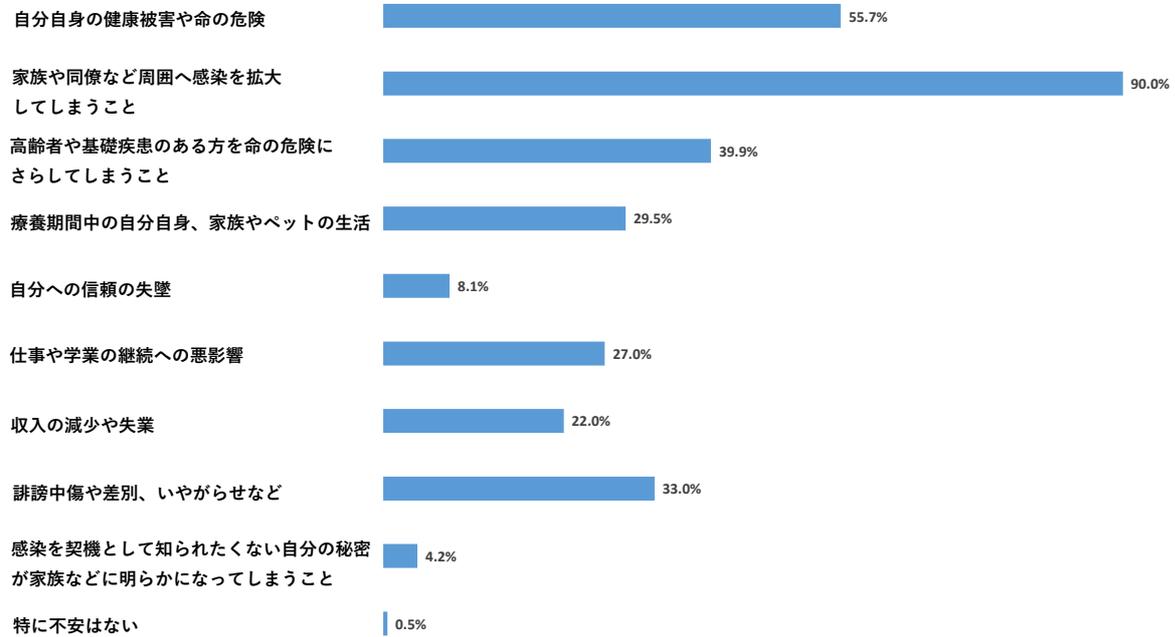
Q7：あなたが感染したとしたら、どんなことが心配ですか。（3つまで）

○男女ともに「家族や同僚など周囲へ感染を拡大してしまうこと」の割合が最も高い。

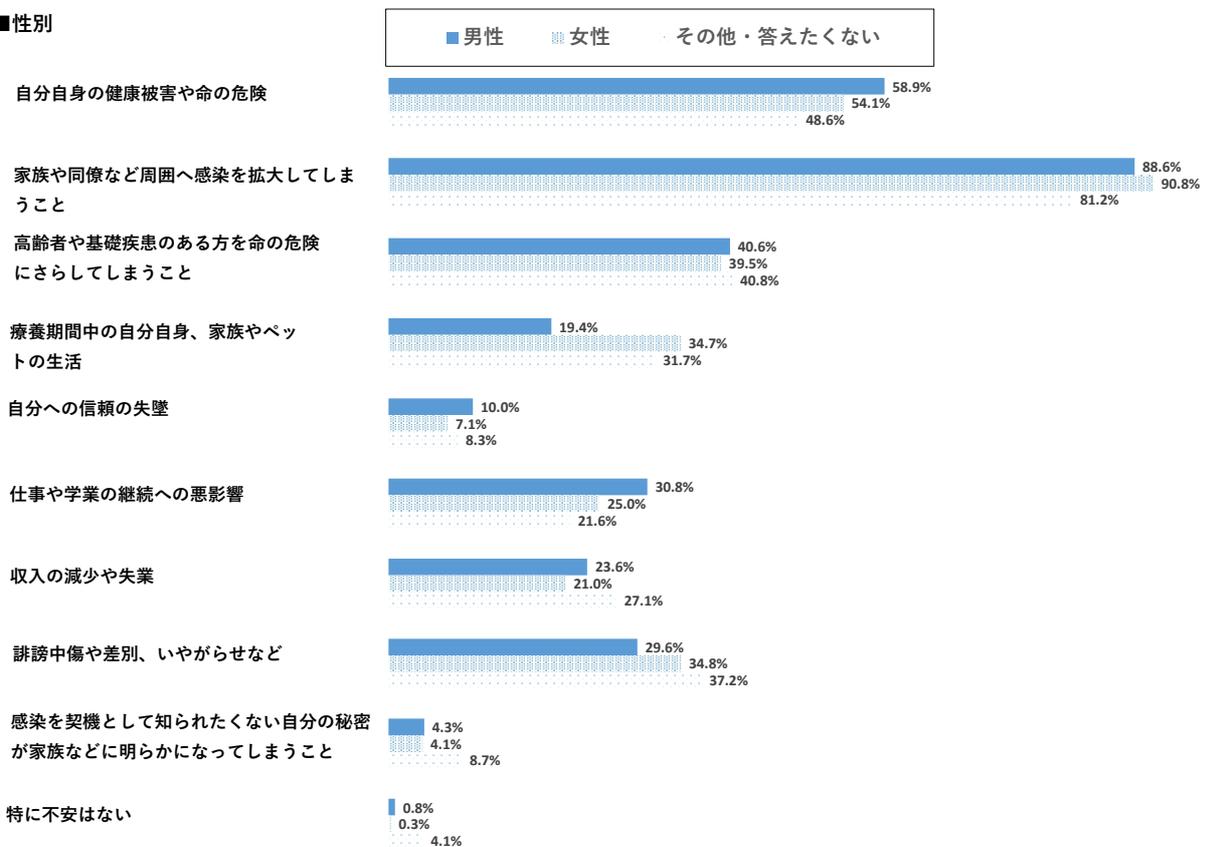
○年代別にみると、50歳以上の年代で「自分自身の健康被害や命の危険」を、「～19歳」の年代は、「仕事や学業の継続への悪影響」や「誹謗中傷や差別、いやがらせなど」を選択する割合が高い。

○職業別にみると、世の職業に比べて「専業主婦（主夫）」が「自分自身の健康被害や命の危険」や「療養期間中の自分自身、家族やペットの生活」の生活を、「経営者」が「収入の減少や失業」を選択する割合が高い。

■全体

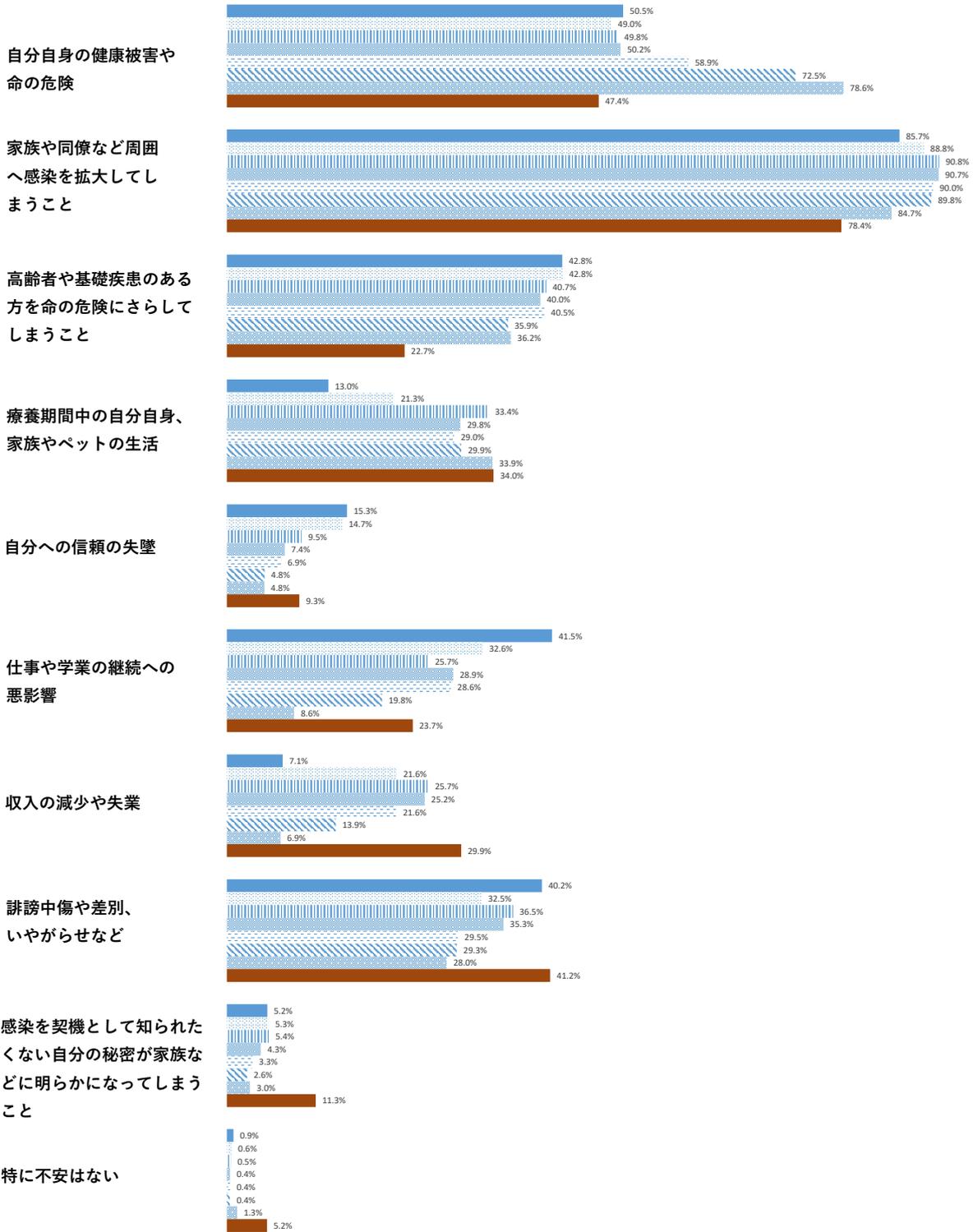


■性別



■年代別

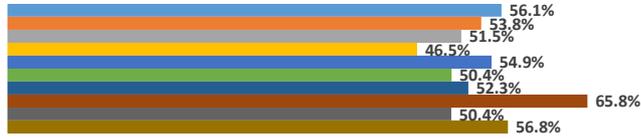
■ ~19歳 ■ 20~29歳 ■ 30~39歳 ■ 40~49歳 ■ 50~59歳 ■ 60歳~69歳 ■ 70歳以上 ■ 答えたくない



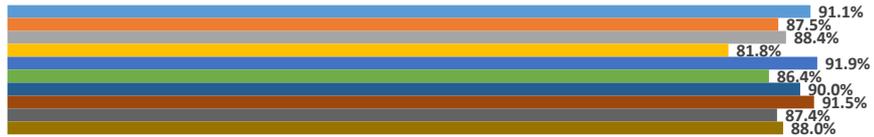
■職業別



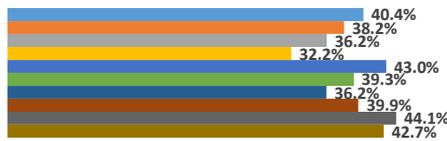
自分自身の健康被害や
命の危険



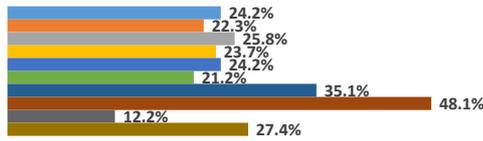
家族や同僚など周囲
へ感染を拡大してし
まうこと



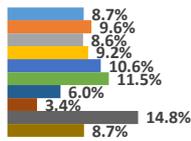
高齢者や基礎疾患のある
方を命の危険にさらして
しまうこと



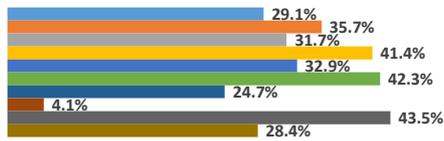
療養期間中の自分自身、
家族やペットの生活



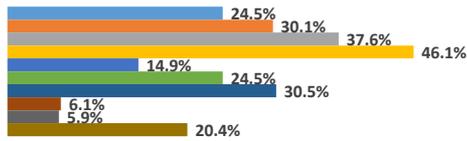
自分への信頼の失墜



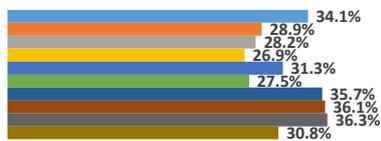
仕事や学業の継続への
悪影響



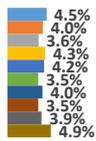
収入の減少や失業



誹謗中傷や差別、
いやがらせなど



感染を契機として知られたく
ない自分の秘密が家族などに
明らかになってしまうこと



特に不安はない



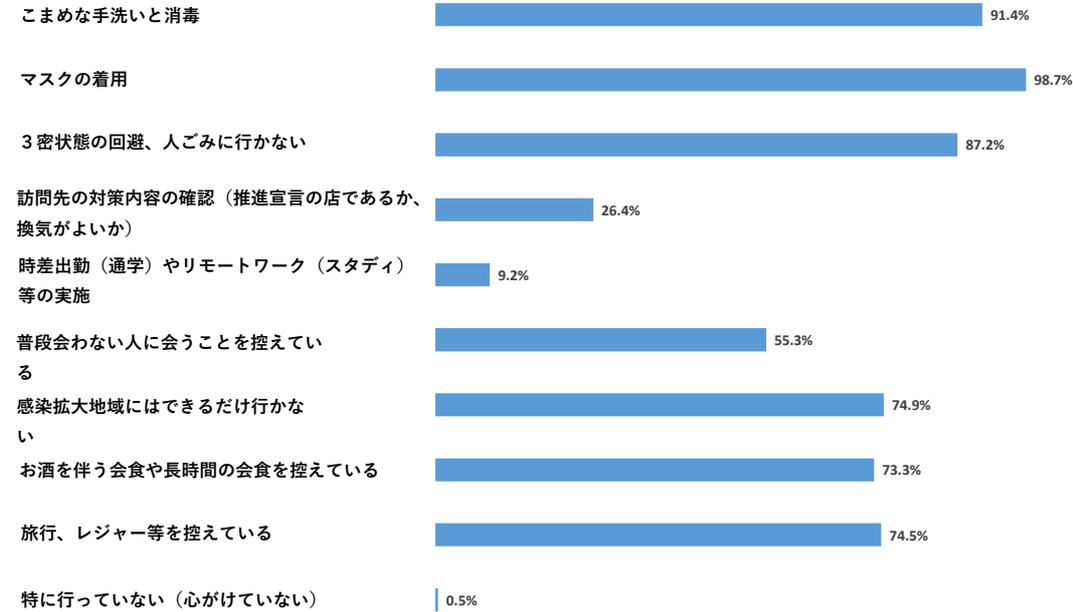
Q8：感染症対策のためにやっている（心がけている）ことはありますか。

○性別でみると、男性に比べ女性は「普段会わない人に会うことを控えている」、「感染拡大地域にはできるだけ行かない」及び「旅行、レジャー等を控えている」を選択した割合が高い。また男女ともに「こまめな手洗いと消毒」、「マスクの着用」及び「3密状態の回避、

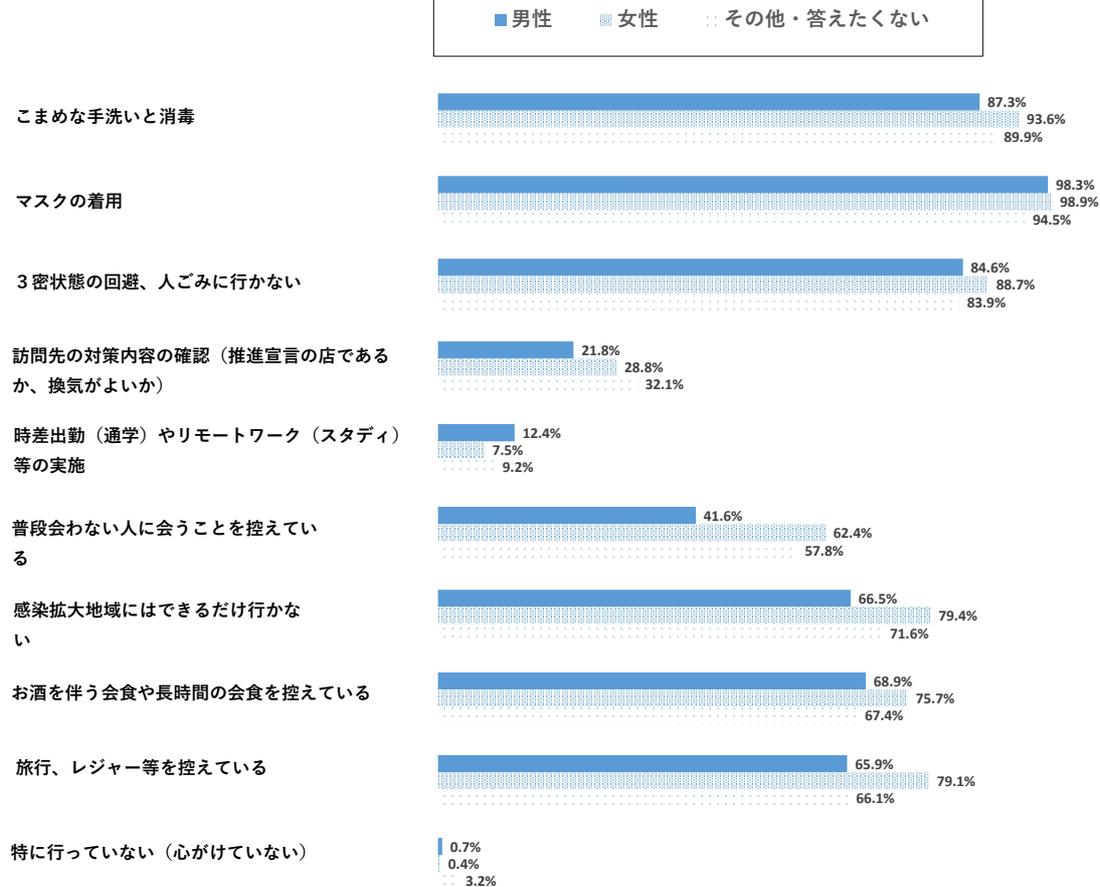
人ごみに行かない」を選択する割合が高い。

○年代別でみると、「～19歳」の年代で、「人ごみに行かない」、「普段会わない人に会うことを控えている」、「お酒を伴う会食や長時間の会食を控えている」及び「旅行、レジャー等を控えている」を選択した人の割合が他の年代と比べて低い。

■全体

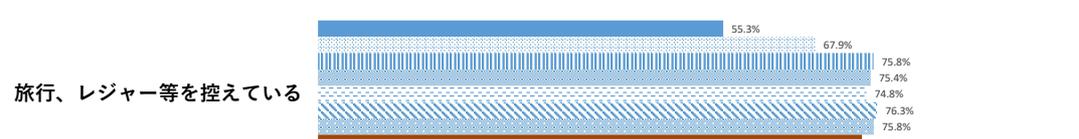
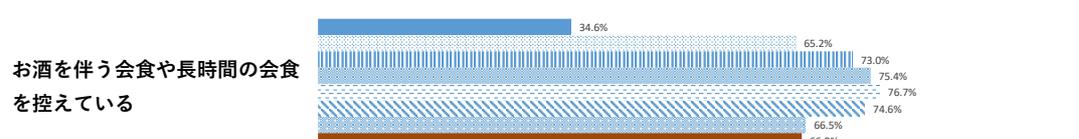
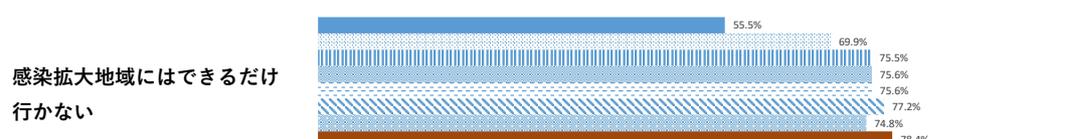
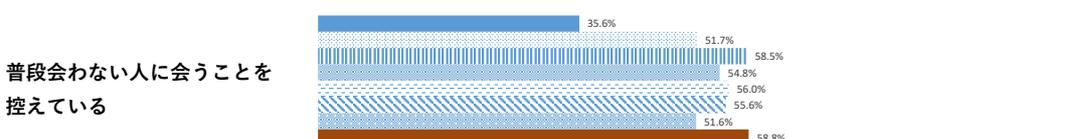
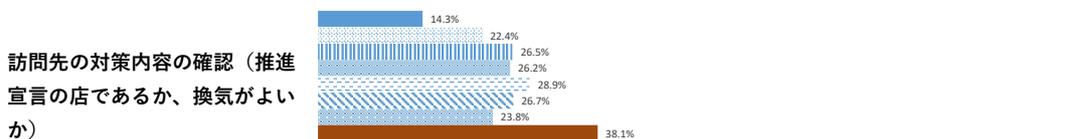
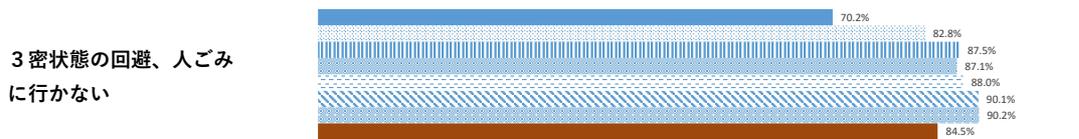
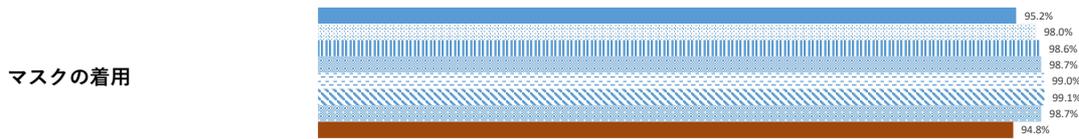
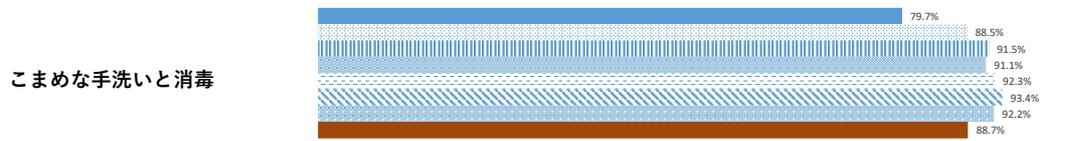


■性別

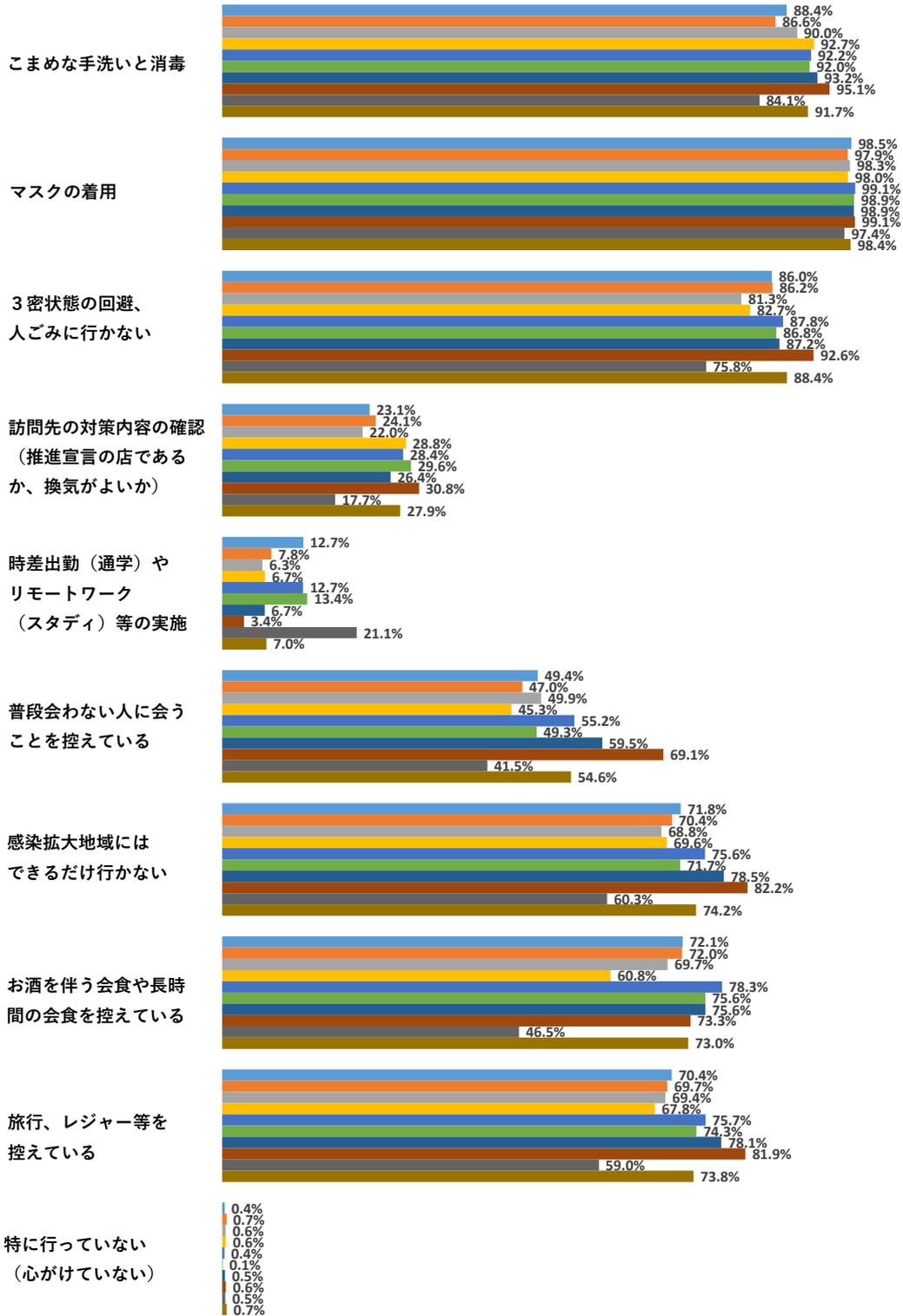
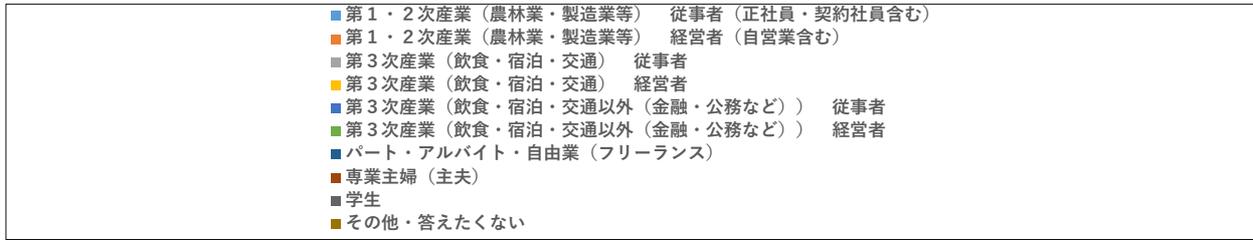


■年代別

■ ~19歳 ■ 20~29歳 ■ 30~39歳 ■ 40~49歳 ■ 50~59歳 ■ 60歳~69歳 ■ 70歳以上 ■ 答えたくない



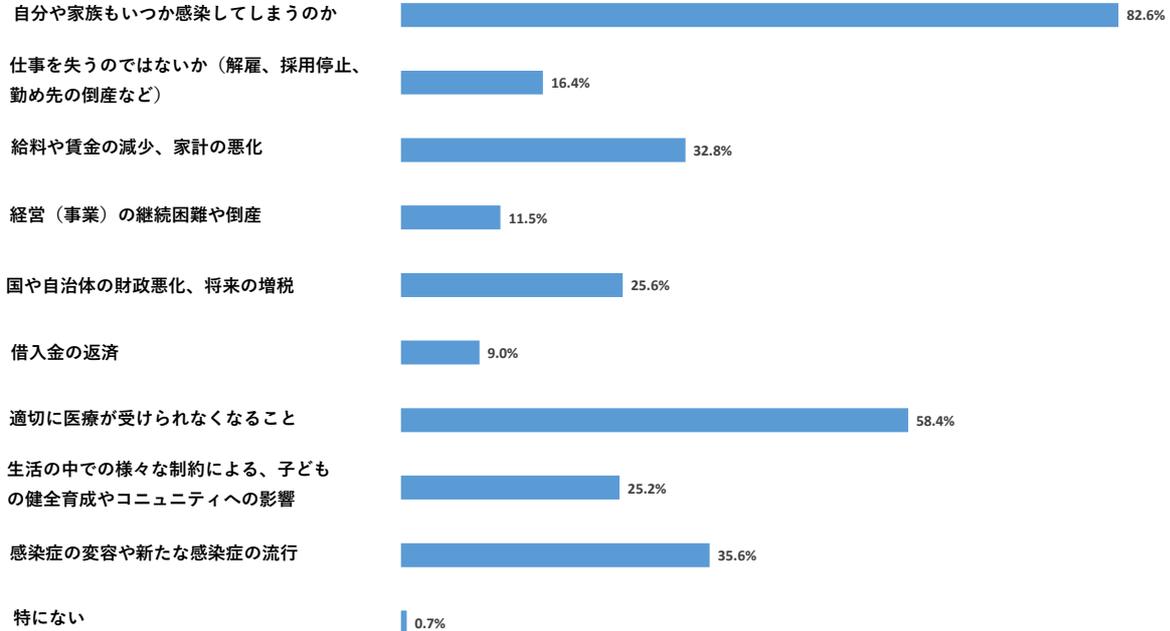
■職業別



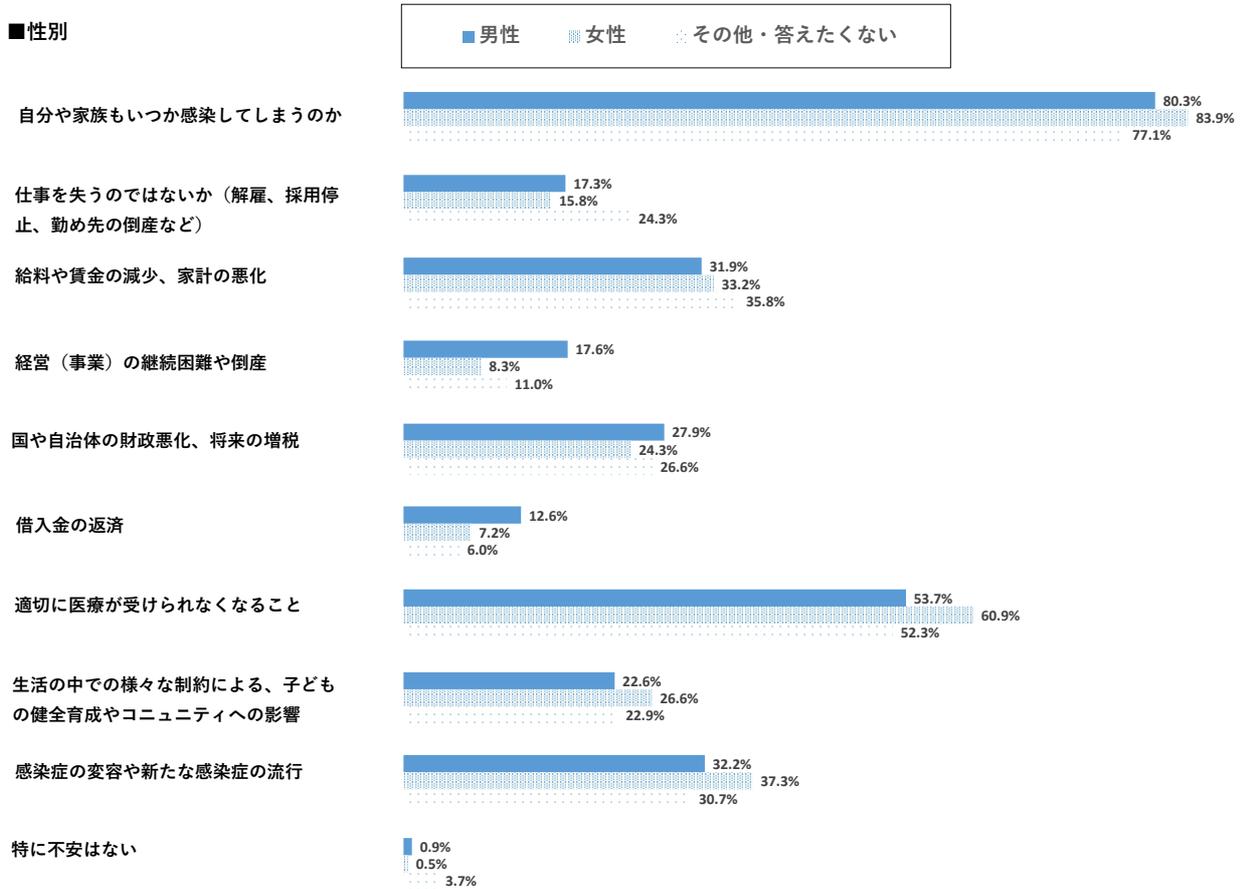
Q9：感染拡大により不安に思っていることはなんですか（3つまで）

- 男女ともに「自分や家族もいつか感染してしまうのか」の割合が最も高い。
- 年代が上がるにつれて、「適切に医療が受けられなくなること」を選択する割合が高く、「感染症の変容や新たな感染症の流行」は「～19歳」と「60歳以上」で選択する割合が高くなっている。
- 職業別にみると、各産業の経営者（特に「第3次産業（飲食・宿泊・交通）経営者」）で「経営（事業）の継続困難や倒産」を、従業者（第1～3次）及びフリーランスで「仕事を失うのではないか」「給料や賃金の減少、家計の悪化」を選択する割合が高くなっている。

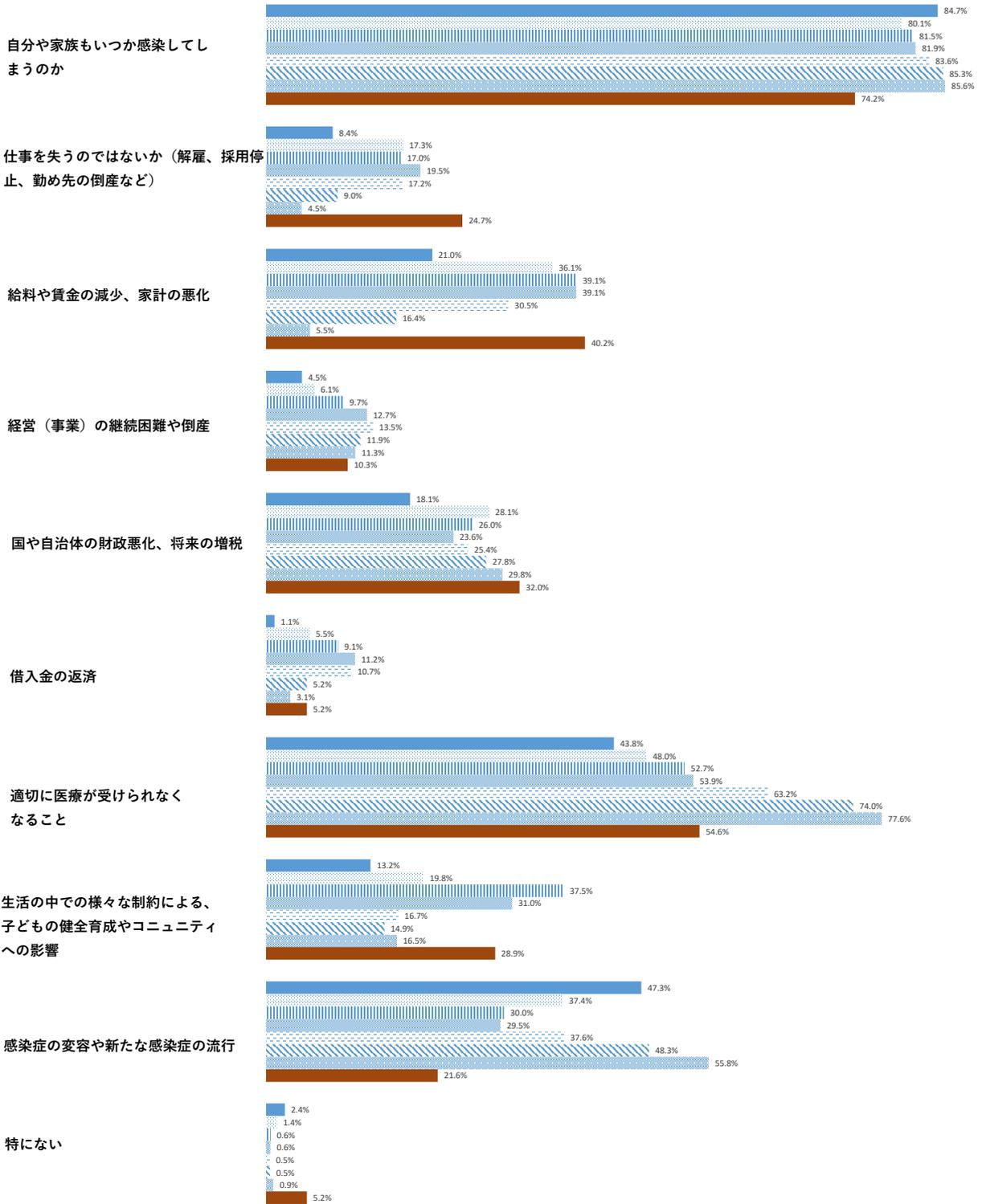
■全体



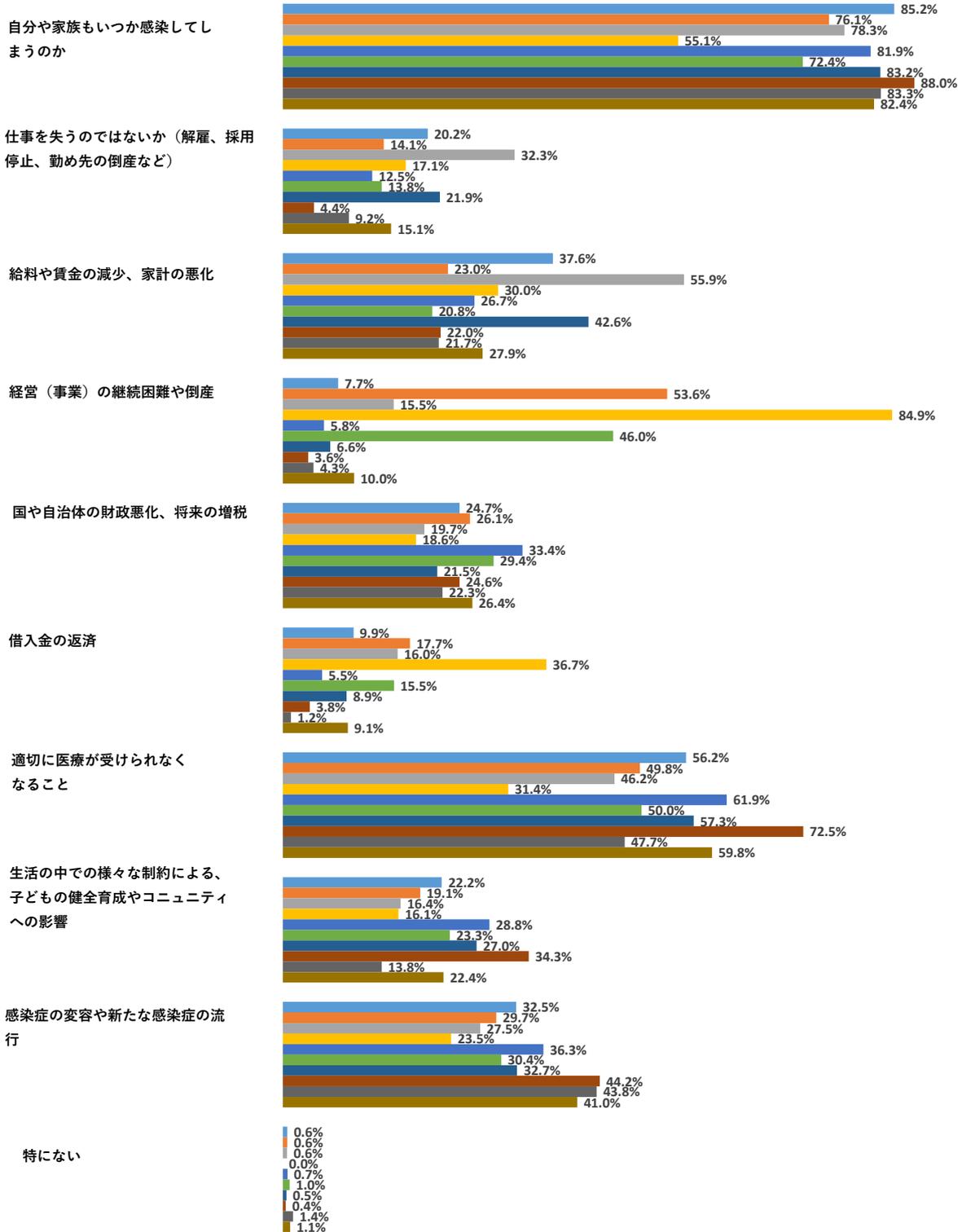
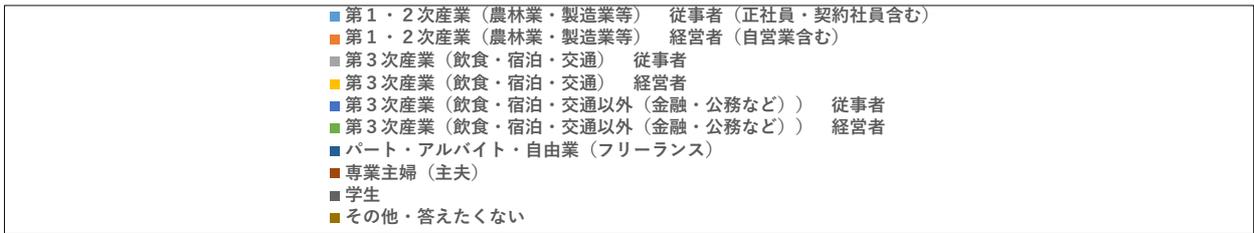
■性別



■年代別



■職業別



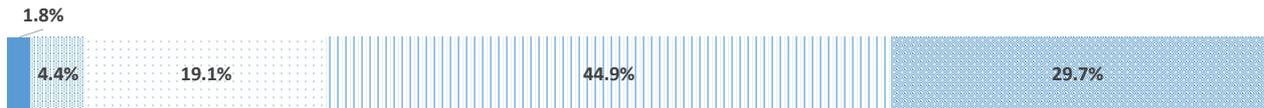
Q10：感染防止に向けた世の中全体の姿勢や自粛ムードをどのように感じますか（1つだけ）

○男女ともに「やや緩い」「緩すぎる」の割合が高い。

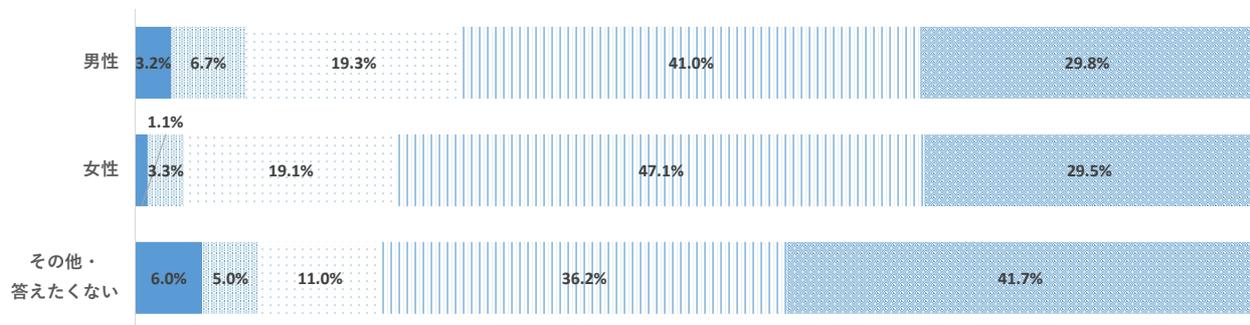
○職業別にみると、「第3次産業」で「経営者」に比べて「従事者」の「やや緩い」又は「緩すぎる」を選択する割合が高い。



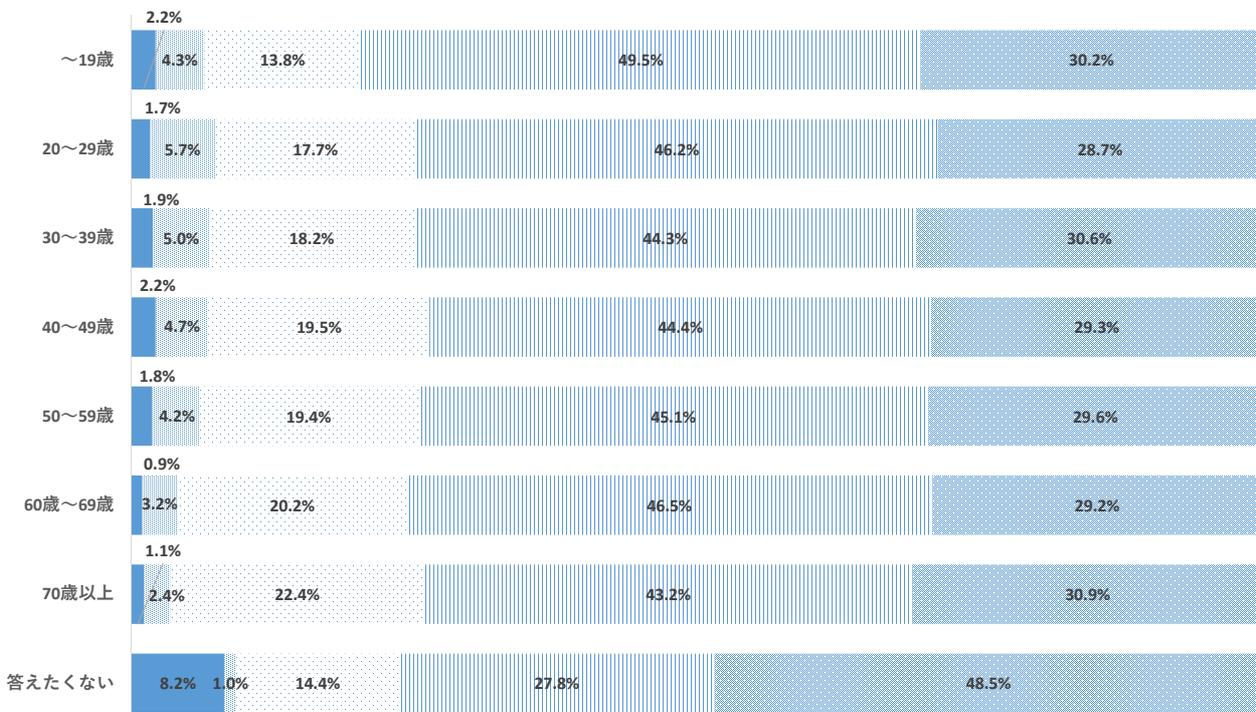
■全体



■性別



■年代別



■職業別

